

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水稻が主体の平地農業地域。
- 担い手への農地の集積を行い経営規模の拡大を行うとともに、主穀作と園芸作物の複合化に取り組む。
- ほ場の整備から約65年経っており、用排水は老朽化している。

【支援内容・背景】

- 担い手の経営規模拡大に対応し、園芸作物生産の複合化等による経営強化を支援する必要。
- 助成対象者は、本地区の大規模経営を営む担い手である。規模拡大に伴う雇用の拡大かつ水稻を中心に露地野菜の作付けによる複合化を実践しており、併せて、施設園芸及び雇用の安定化を志向している。
このため、本地区における大規模複合経営の取組モデルとして育成・支援。



助成対象者「株式会社赤丸農産」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成18年 法人化(農事組合法人)
- 令和元年 名称変更(株式会社)
- 令和2年 農業経営改善計画認定(法人)
- 令和4年 1名雇用
- " 本事業活用
- " チューリップ切り花による施設園芸開始
- 令和5年 1名雇用
- " ミニトマトによる施設園芸開始

《事業活用の背景》

- 経営面積の拡大に対応するため、2名を雇用。冬期間の作業確保や雇用の安定などのため、園芸用ハウスと加温暖房機を導入。

【事業実施時の状況】
〈R4年度〉

- 売上高 81,950千円
- 付加価値額 46,430千円
- 経営面積 76 ha
(水稻、大豆、ハトムギ、露地野菜(加工用キャベツ等)、トマト(ポット栽培))
- 施設園芸 -

《事業による整備内容》

- 園芸用ハウス
72m×12m 1棟
事業費 25,385千円
(国費 6,923千円)
- 園芸ハウス加温
暖房機 1台
事業費 1,595千円
(国費 435千円)



【現在の経営状況】
〈R6年度〉

- 売上高 267,000千円 (326%)
- 付加価値額 122,522千円 (264%)
- 経営面積 107ha (141%)
(水稻、大豆、露地野菜(加工用キャベツ等))
- 施設園芸 1棟 (皆増)
(ミニトマト、チューリップ切り花)

事業の
効果

- 《対象者》 園芸用ハウスと加温暖房機の導入により冬期間の作業を確保したことで雇用が安定し、付加価値額の拡大を実現。
- 《地区》 本地区の雇用に貢献する大規模複合経営モデルが確立し、本地区の農地の受け皿として耕作放棄地の発生防止に寄与。